

としょえもん

学校図書館サポートだより 第4号

ラストスパート!



学校図書館サポート事業へのご協力ありがとうございました

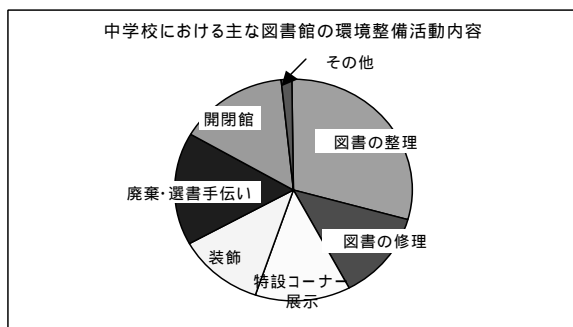
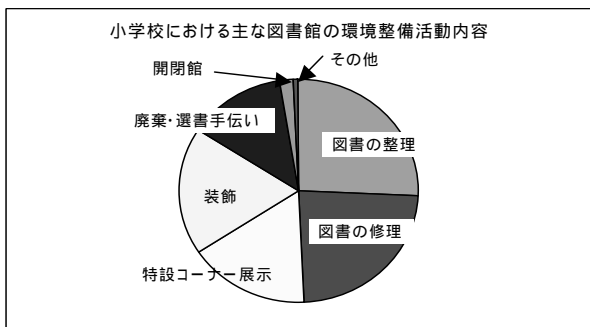
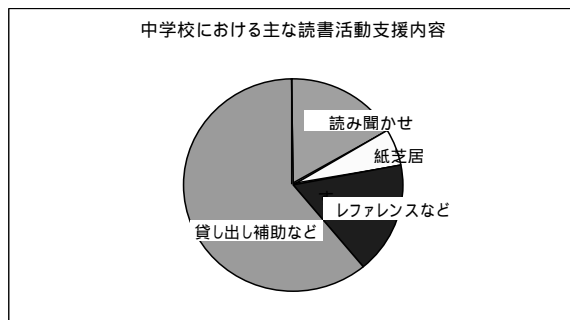
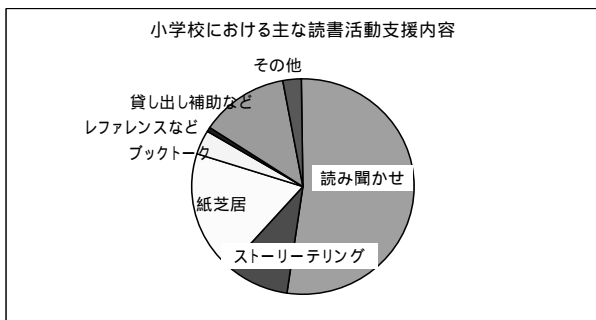
22年度の活動内容

- 巡回支援：学校図書館活用重点校 23 校を毎月訪問し、書架の整備や修理・ディスプレイ・読み聞かせなどへの助言。(2月末：訪問回数のおよそ 214 回、スタッフ派遣人数のおよそ 501 人)
- 研修会：司書教諭研修 2 回、読書指導員(図書ボランティア)研修 4 回、夏休みのパワーアップ研修(教員対象) 1 日、初任者研修(教員対象) 1 回を実施。
- 公共図書館との連携：八王子市中央図書館との連絡会を毎月開催し、公共図書館による学校図書館支援への協力をした。
- 調査活動：図書ボランティア活動状況調査を実施。(全校対象、回答は管理職)
- 相談：学校図書館活用重点校以外の学校の要請に応じ訪問(2件) 電話問い合わせ、他。
- 広報活動：『としょえもん』発行(年間4回)、八王子読書フォーラムでのパネル展示など。

図書ボランティア活動状況調査から(集計結果の一部をお知らせします)

今後の学校図書館環境整備や学校図書館サポート事業を効果的に進めるため、各学校における図書ボランティア活動の実態調査を行いました。(平成 22 年 10 月 22 日～11 月 19 日)

＜基礎データ＞ 調査対象校	小学校 70 校	中学校 38 校
回答率	小学校 100%	中学校 100%
活動実績あり	小学校 63 校(90%)	中学校 24 校(63.2%)



第4回 学校図書館読書指導員・図書ボランティア研修会

『事例発表と情報交換 平成23年1月19日(水)』 八王子市教育センター大会議室にて

1月19日(水)、教育センターで、第4回読書指導員研修会が開催され、今回は活動事例発表会と、それを基にした意見交流が行われました。学校図書館活用重点校の中から、第四小学校・第六小学校・宇津木台小学校・山田小学校・恩方中学校5校の読書指導員・図書ボランティアの皆さんに、それぞれの学校でのこれまでの取り組み・成果や課題などを紹介していただきました。当日は、87名の参加者があり、質疑応答・意見交流も熱心に行われ、アンケートでは、今後の活動に役立つ研修会だったとの感想をたくさんいただきました。

スクリーンに写真を写しながらの発表



学校図書館読書指導員・図書ボランティア 研修会アンケート自由記述から (頂いた感想の一部をご紹介します)

第1回: 司書教諭との合同研修

・合同研修には一長一短あり。ボランティアに司書教諭の職務を知ってもらうためには好都合だが、ボランティアにも分かりやすい話となると、毎年内容が重複する傾向があるような気がする。

第2回: 読み聞かせ

・いつも本を選ぶときにいろいろ迷っていたが、選び方が良く分かった。(同意見多数)

第3回: 紙芝居・修理

・紙芝居は「舞台」の必要性をものすごく感じた。
・保護者の本を大切に作る気持ちが「修理」という形を通して、本を手取る子どもたちに伝わると素敵だと思った。

第4回: 事例発表会

・どこの学校も、今後の活動につなげていけるよう人材の確保が大変なことを実感した。もっと気軽に参加してもらえるような声掛けが大切かと思った。

本を宝物に変えるために

八王子市教育委員会(教育センター担当)
指導主事 金井 誠

先日、A校の図書室を見る機会がありました。その学校は、学校図書館活用重点校ではないものの、書棚は整理され、お薦めの本の紹介があり、子どもの作品が展示され、花が飾られているとても居心地のいい図書室でした。

私事で恐縮ですが、幼い頃、私は本が嫌いでした。与えられた本は、幼い私にとって余りに重く、厚く、文字が小さく、私は「自分には読み切れない。」と勝手に思い込み、手にとることさえしませんでした。

子どもたちにとって、本は宝物にも重荷にもなり得ます。A校の校長先生がおっしゃっていました。「ボランティアの方が図書室の整理、装飾を行ってくださるおかげで、子どもも教員もいつも気持ちよく利用できる」と。このような、読書指導員や図書ボランティア等の方々への心のかもった御支援は、子どもたちを図書室に向かわせ、本の世界の楽しさに触れるきっかけを作り、本を宝物に変えていきます。そして子どもたちの知識と世界を広げていきます。

1月19日の研修会では、市内5校でそれぞれ御活動いただいている読書指導員、図書ボランティアの方々から御報告をいただきました。各校の実践からは、本と図書室をとおした子どもたちへの深い愛情が伝わって参りました。この想いを受け止め、本の世界からより広い世界に飛び立つ子どもが一人でも多く育つよう、各学校への指導と支援を進めて参ります。御支援くださっている皆様、日ごろより本当にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。



学校図書館

活用重点校紹介～その4～

平成 22 年度重点校 23 校の図書館を順番にご紹介してきましたが、最終回です。

城山中学校

図書委員会活動への支援として本の修理講習を行いました。写真左下は綺麗になった本たち。



由木中央小学校

新着棚にも季節の飾り。下は低書架の上に読み聞かせで使った本を展示。



第六中学校

進路・職業に関する本を集めた特設コーナー。調べ学習でも利用。右上は図書委員が制作したアイデアポスター。階段を利用して掲示。



横山第一小学校
中休みのお話会。
図書室入り口や職員室前にはポスターを掲示。

みなみ野君田小学校

季節のおすすめ本コーナー、手作りの曆を添えて。右は修理の状態によって本を仕分ける箱。(時間がかかりそう・すぐ直せそうな本、要検討など)

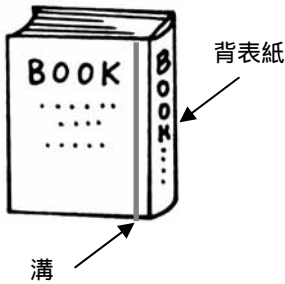


この公用車で 23 校+ の学校を巡回しました。合計 218 回でした。大勢のボランティアの方々にお会いできました。来年度も新たな出会いが楽しみです。一年間ありがとうございました。





学校図書館ワンポイントアドバイス 4(修理のミニ知識:背表紙のタイトルが消えている場合)



皆さんの学校にも、本体の状態はよいのに、日に焼けて背表紙のタイトルが読めなくなった本がたくさんありませんか？タイトルがはっきり分かれば、きっと子どもたちも興味をもったり、調べ学習で活躍したりすることになるのではないのでしょうか。全てを作り直す必要はありませんが、そんなときは、次の方法を試してみたらいかがでしょう。

テブラやパソコンで文字を打ち出します。マジックでタイトルを書くよりも、整った印象になります。(ラベルも確認しましょう)

その上からブックコートフィルム等でくるみます。(フィルムの幅は背の幅ではなく、溝より少し長めにカットしてカバーしましょう)



学校図書館耳より情報

八王子の歴史や人物を調べることができるHPをご紹介します。子どもたちと一緒にアクセスしてみませんか。

八王子市図書館『八王子を調べる』こどもレファレンス シート

<http://www.library.city.hachioji.tokyo.jp/hachioji06.htm>

八王子市子ども版ホームページ キッズコーナー『ぎんなん』

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/ginnan/index.html>

図書の配送便が始まりました！

12月7日、たくさんの本を積んだ配送便の第1号が市内の学校へ向けて出発しました。学級文庫用や調べ学習用として、月に一回、学校と中央図書館を結びます。貸出と返却がスムーズに行えるようになりました。子どもたちにたくさんの本と読書の楽しみを運びます。

お問い合わせは中央図書館児童担当までお願いします。(TEL664-4321 / ファックス 662-2789)

(コラム・としょえものの眼)

ローラとおしん

あるきっかけで『大草原の小さな家』に魅せられ、インガルス一家の物語シリーズを読破した。主人公ローラのみずみずしい感性、かつ達な性格と行動がとても新鮮だ。そのローラの目を通して描かれる「父さん」の姿は、さらに強烈な印象を与えてくれる。厳しい大自然に敢然と挑みつつ、家族四人の衣食住を保障し、なおかつ心の平穏のよりどころにもなる父親像が淡々と活写される。「父さんさえいてくれたら、ローラたちは何ひとつ心配ないのです」と。この本が世に出たとき、米国で大きな反響を呼んだ背景には、薄れつつあったフロンティア・スピリッツを呼び覚まさせてくれたことがあったという。そういえば、朝のTVドラマ『おしん』が、我が国ばかりかアジア諸国で大人気を博したことがあった。いずれにも、いまの自分につながる先人の苦勞を、共感をもって受け止める素地があつての反響だったろう。読書リストには、いつも子どもの本を何冊か加えておきたい。(甫)



平成23年 3月 15日 発行 第4号

八王子市教育センター 学校図書館担当
連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988
所在地 八王子市散田町 2-37-1
教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp

『としょえもん』キャラクターデザイン: 宇津木台小学校 平井 忍 先生